トーゴ国月報（２０１６年１０月）

|  |
| --- |
| 主な出来事【内政】●２９日、横領の罪で訴えられ、客月２２日に５年の禁固刑等を命じられたアルベルト・オランピオ「トーゴ人の党」党首にかわり、ナタニエル・オランピオ同党官房長が暫定的に党首に就任した。【外政】●１５日、ロメで、アフリカの海洋安全保障、海上安全及び開発に関するアフリカ連合（AU）臨時首脳会合が開催された。●２８日、ニャシンベ大統領は、トーゴを訪問中（２８－２９日）のヴァルス仏首相と会談した。【経済】●１６日、ジョンソン環境・森林資源大臣、ヴェラ欧州委員会環境・海洋・漁業担当委員、ＥＵ大使、仏大使、独大使は、１，０００万ユーロの気候変動対策支援計画に署名した。●２６日、世銀の２０１７年のDoing Businessのランキングで、トーゴは前年と同じ１５４位となった。●２９日、ニャシンベ大統領は、トーゴ訪問中のヴァルス仏首相と共に、ロメから２０ｋｍ地点のアケペで、技術埋立センター（総工費２，１２０万ユーロ）の起工式を行った。 |

【内政】

・６日、タブリグボ（ロメから北８０ｋｍ）の第一審裁判所は、セメント製造のＷＡＣＥＭ－ＦＯＲＴＩＡ社に対し、２０１５年６月の作業場で起きた事故（サイロの爆発により、トーゴ人５名、インド人従業員１名が死亡）の犠牲者への２億８０００万ＣＦＡフラン（約５６００万円）の賠償金支払いを命じた。（トーゴ共和国ホームページ他）

・２９日、元ビジネスパートナーから６０億ＣＦＡフラン（約１２億円）を横領したとして訴えられ、客月２２日に５年の禁固刑等を命じられたアルベルト・オランピオ「トーゴ人の党」党首にかわり、ナタニエル・オランピオ同党官房長が暫定的に党首に就任した。（ゴルフ・アンフォ紙他）

【外政】

・１１－１４日、１５日に開催される「アフリカの海洋安全保障、海上安全及び開発に関するアフリカ連合（AU）臨時首脳会合」に先立ち、ＡＵ常駐代表会合（PRC）（１１－１２日）及びAU閣僚執行理事会（１３－１４日）がロメで開催された。（トーゴプレス紙）

・１５日、ロメで、「アフリカの海洋安全保障，海上安全及び開発に関するAU臨時首脳会合」が開催された。政府発表によれば、ＡＵ加盟国のうち４３か国が参加、うち１８か国の国家元首が参加した。同会合では、３０以上の国が海洋安全保障、海上安全に関するロメ憲章を採択した。（トーゴ共和国ホームページ他）

・２８日、ニャシンベ大統領は、トーゴを訪問中（２８－２９日）のヴァルス仏首相と会談した。ヴァルス首相は、トーゴとの関係を強化したいとのメッセージをニャシンベ大統領に伝えた。ヴァルス首相は、このほか、ロメ港等を訪問した。（トーゴプレス紙他）

【経済】

・１日、中国建国６７周年記念日に際して、中国大使は「トーゴの政治情勢は引き続き安定している。対トーゴ投資環境は改善されており、投資能力も強化されている。経済は好調で今後の見通しも堅調。中国はトーゴを主要なパートナーの一つと考え、農業・保健・インフラ・地方電化等の分野で多数の重要なプロジェクトを実施している」と述べた。また、ドゥセ外務・協力・アフリカ統合大臣は「４０年以上にわたり、両国は分かちがたいパートナーとして、婚姻のように責任ある模範的な関係を維持している」と述べた。１０－１５日にロメで開催されるＡＵ首脳会議のため、中国は２０１５年５月には３，７００万ＣＦＡフラン（約７４０万円）の機材供与、本年９月には推定５億ＣＦＡフラン（約１億円）の電子機器やバスの供与を行っている。（フォーラム・ドゥ・ラ・スメーヌ紙、トーゴプレス紙）

・７日の発表によると、１０－１５日にロメで開催されるＡＵ首脳会議に対し、ＥＵは専門家派遣、ロジスティクスなど４５万ユーロの支援を行っている。（ＥＵトーゴ代表部発表プレス・コミュニケ）

・１４日、ジョンソン環境・森林資源大臣、ヴェラ欧州委員会環境・海洋・漁業担当委員、ＥＵ大使、仏大使、独大使は、１，０００万ユーロの気候変動対策支援計画に署名した。（トーゴマタン紙、トーゴプレス紙他）

・１８日、ＥＵとＵＮＤＰは国家開発計画への支援として、トーゴに５０万ユーロを供与した。ＵＮＤＰ負担分は８万９，０００ユーロ、ＥＵ負担分は４１万１，０００ユーロと算定される。後者は第１１次欧州開発基金（ＥＦＤ）による支援の一部。計画開発省と協力し、セクター別政策の分析と優先順位付けを行う。（トーゴプレス紙、リベルテ・エブド紙他）

・２６日、世銀の２０１７年のDoing Businessのランキングで、トーゴは前年と同じ１５４位となった。（トーゴプレス紙他）

・２９日、ニャシンベ大統領は、トーゴ訪問中のヴァルス仏首相と共に、ロメから２０ｋｍ地点のアケペで、技術埋立センター（Centre d’Enfounissement Technique）の起工式を行った。同センターの総工費は２，１２０万ユーロ、ロメ市（１０％）、ＡＦＤ（１４％）、ＥＵ（３３％。ＡＦＤへの委託基金）、ＢＯＡＤ（４３％）が出資した。同センターによって、都市固体廃棄物の管理を向上させることができる。（トーゴプレス紙他）